

インドシアニングリーン注射剤の”血管及び組織の血流評価”への承認取得について

本年7月に、インドシアニンググリーン注射剤であるジアグノグリーン注射用25mg（溶解液付）（製造発売元：第一三共株式会社）の効能・効果に”血管及び組織の血流評価”が追加されました。

これは2015年に日本形成外科学会と日本外科学会が連名で「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討委員会」に血管・再建組織の血流状態観察への適応拡大を要望したのを受けて公知申請が認められたものです。

ジアグノグリーン注射用25mg（溶解液付）が用いられた場合の診療報酬は以下の2つが想定されます。

D207 体液量等測定 2皮弁血流

K939-2 術中血管等描出撮影加算

しかし、D207はそもそも薬剤料を含むため薬剤の算定は不可となります。

K939-2についても、現時点では形成外科手術は適応外なので加算の算定は不可ですが、薬剤料は算定可となります。

今後2020年度改訂で、以下の手術の適応拡大を目指しますが、そのためには形成外科領域での使用実績、有用性を示す必要があります。

これらの手術でインドシアニンググリーンを用いて組織血流評価を施行された際には、論文化した上で社保委員会までお知らせいただくと幸いです。

会員各位のご協力を宜しくお願いします。

K015 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術

K016 動脈皮弁術、筋皮弁術

K017 遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの）

K020 自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）

K476-3 動脈皮弁術及び筋皮弁術を用いた乳房再建術（乳房切除後）等

日本形成外科学会社会保険委員会

委員長 金子 剛

担当理事 大西 清